26　　まずは人を愛せよ 　文法　比較形

達　㆓コセドモ 　㆒ヲ、喜㆑ブ 読㆑ムヲ 書ヲ。神　宗　㆓フ 其ノ 忠　実ニシテ 可**一レ**シト。達　㆑㋐見、①未㆔ 嘗　不㆓　㆒。嘗テ 問フ、「②用 　キト㆓　。」対ヘテ、「③莫㆑ 如㆑ 愛。」帝　、「威　㆓ツモ ノ ㆒、可ナル。」達　、「④　㆑ ㆑ 。 要ハ 以㆑テ 愛ヲ 為㆑ス  ト ㋑耳ト。」帝　㆑シトス之ヲ。

語注

達＝。の人。

起行伍＝軍隊（「行伍」）を率いる。

神宗＝北宋の第六代皇帝。

威＝威圧。

【原文】

達　起　行　伍、喜　読　書。神　宗　以　其　忠　実　可　任。達　毎　見、未　嘗　不　従　容。嘗　問、「用　兵　当　何　先。」対　曰、「莫　如　愛。」帝　曰、「威　克　厥　愛、可　乎。」達　曰、「威　非　不　用。 要　以　愛　為　先　耳。」帝　善　之。

問一　次の「内容わしづかみ」の空欄に本文中の漢字を書き入れよ。

燕達は〔　　　　〕を好み、〔　　　　〕な態度で神宗の信頼を得ていた。神宗が〔　　　　〕の要点を尋ねると、燕達は「兵士たちを〔　　　〕することが第一だ。」と答えた。

問二　波線部㋐・㋑の読み方を、送り仮名も含めてひらがなで答えよ。（現代仮名遣いでよい。）〈4点×2〉

㋐〔　　　　　　　　　　〕　㋑〔　　　　　　　　　　〕

問三　チェック問題　比較形

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 莫㆔シ 〜㆓〔ナル〕ハ 於 Ａ㆒ヨリ | | Ａハ 不㆑如カ（若）㆑Ｂニ | | Ａハ〜㆓ 於（于・乎）Ｂ㆒ヨリモ | |
| Ａより～であるもの︵こと︶はない。 |  |  |  | ＡはＢよりも～だ。 |  |

　⑴　次の表を完成させよ。〈1点×4〉

　⑵　次の文の１を書き下し文にし、２を現代語訳せよ。 〈2点×2〉

1　霜　葉ハ 紅㆓ナリ 於　二　月ノ 花㆒ヨリモ。 （杜牧・山行）

2　百　聞ハ 不㆑ 如㆓カ 一　見㆒ニ。 （漢書）

1〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

2〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問四　傍線部①は「今まで一度もゆったりと落ち着いた態度でないことはなかった」という意味である。これに従って、書き下し文にせよ。ただし、「従容」は形容動詞「従容たり」として読むこと。 〈5点〉

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問五　傍線部②とあるが、神宗はどのようなことを尋ねているのか。二十字以内で答えよ。 〈9点〉

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問六　傍線部③について、

　⑴　書き下し文にせよ。 〈5点〉

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（。｣と。）〕

　⑵　現代語訳せよ。 〈8点〉

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問七　傍線部④の解釈として最も適当なものを選べ。 〈7点〉

ア　兵士たちが恐れない将軍はいない。

イ　兵士たちを恐れさせることも必要だ。

ウ　兵士たちを決して恐れさせてはいけない。

エ　兵士たちが恐れることはほとんどない。

〔　　　〕

【解答】

問一　読書　忠実　用兵　愛

問二　㋐＝まみゆる　㋑＝のみ〈4点×2〉

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 莫㆔シ 〜㆓〔ナル〕ハ 於 Ａ㆒ヨリ | | Ａハ 不㆑如カ（若）㆑Ｂニ | | Ａハ〜㆓ 於（于・乎）Ｂ㆒ヨリモ | |
| Ａより～であるもの︵こと︶はない。 | Ａより～︹なる︺は莫し | ＡはＢに及ばない。（ＡよりＢの方がよい。） | ＡはＢに如かず | ＡはＢよりも～だ。 | ＡはＢよりも～ |

問三　⑴　〈1点×4〉

⑵　１＝霜葉は二月の花よりも紅なり。〈2点×2〉

　　　　　２＝百聞（数多く話に聞くこと）は一見（一度見ること）に及ばない。

問四　未だ嘗て従容たらずんばあらず。〈5点〉

問五　軍隊を率いるときに最も重視するべきこと。（20字）〈9点〉

問六　⑴　愛に如くは莫し（。｣と。）〈5点〉

⑵　兵士たちを大切にすることに及ぶものはありません。〈8点〉

問七　イ〈7点〉

【現代語訳】

　燕達は軍隊を率いていたが、書物を読むことを好んだ。神宗皇帝は彼が〔＝燕達が〕忠実で（その職務を）任せることができると考えていた。燕達が（神宗に）お目通りするたびに、今まで一度もゆったりと落ち着いた態度でないことはなかった。（神宗が燕達に）以前に尋ねたことには、「軍隊を率いるときに、何を第一にするべきなのか。」と。（燕達が神宗に）答えて言うには、「（兵士たちを）大切にすることに及ぶものはありません。」と。神宗が言うには、「（兵士たちを）威圧することが、その大切にすることに勝る（と私が考える）のは、かまわないか。」と。燕達が言うには、「（兵士たちを）威圧することも用いないのではありません。（しかし）要するに（兵士たちを）大切にすることを第一にするだけです。」と。神宗はこれ〔＝燕達の答え〕に納得した。

【書き下し文】

をこせども、をむをぶ。のにしてずべしとふ。ゆるに、だてたらずんばあらず。てふ、「をゐるににをかにすべき。」と。へてはく、「にくはし。」と。はく、「のにつも、なるか。」と。はく、「もゐざるにず。はをてとすのみ。」と。をしとす。

【補充問題】

問１　「用兵当何先。」（２～３行目）を書き下し文にせよ。

問２　「可乎」（４行目）をすべてひらがなで書き下せ。

問３　「要以愛為先耳」（４～５行目）を言い換えると、次のようになる。空欄Ａ・Ｂには「愛」「威」のいずれを入れるのが適当か答えよ。

　　［ Ａ ］不如［ Ｂ ］（［ Ａ ］は［ Ｂ ］に如かず）

問４　燕達についての説明として最も適当なものを選べ。

ア　兵士たちを大切にし、その上で威圧するのがよい、と考えていた。

イ　兵士を威圧することを嫌い、軍隊を率いることを拒んでいた。

ウ　読書を好み、書から学んだ兵法で軍隊をうまくまとめていた。

エ　迅速な行動力によって、神宗からの絶大な信頼を得ていた。

【補充問題解答】

問１　兵を用ゐるに当に何をか先にすべき。（」と。）

問２　かなるか（。」と。）

問３　Ａ＝威　Ｂ＝愛

問４　ア